



新ひだか町立病院コラム Vol. 32

NEW CT装置が新しくなりました

町立静内病院では、2024年1月に、最新型の320列CT装置(キヤノンメディカルシステムズ株式会社製 Aquilion ONE NATURE Edition)を導入しました。

320列CT装置の特徴～負担を掛けない高速撮影～

1回転で最大160mmの範囲を撮影することが可能なため、脳や心臓などの臓器を1回転で全範囲を撮影することができます。

これにより、これまでの64列CTでは困難であった、息止めの制限も緩和され、3D作成が困難であった、期外収縮などの不整脈症例にも対応することが可能となりました。

また、胸部CT撮影や胸腹部骨盤部CTの息止め時間がおよそ半分になるほか、開口径(CTの筒)も広い設計のため撮影時の圧迫感が軽減されます。

AI(人工知能)の一種であるディープラーニングを利用

通常のCT装置では、高画質を得るためには患者さまへの多くのX線被ばくが必要であり、X線被ばく線量を抑えると画質が劣化します。しかし、この最新型ではAI技術により患者さまのX線被ばく線量を抑えて、高画質を得ることが可能となっています。



院長のつぶやき

院長の小松です。「新型CT装置の導入について」少し前の話ですが、私が当院に赴任した際、「向こう10年は循環器疾患治療の主力となるだろう」と、当時の最先端であった64列CTを導入し、冠動脈造影CT等を中心に全身の疾患検索のための画像検査機器としてフル稼働してきました。その機器も年数を重ね、当院のCTはこの度、更新の時期を迎えることになりました。

CT機器も技術の進歩と共に新型が開発され、今回導入したCTは撮影範囲が拡大されただけでなく、高速スキャン、高画質、そして低線量撮影が可能となり、患者さまへの負担がかなり軽減出来る点が特徴と考えています。

日高管内では、健康診断受診率が低い状況で、特にがん検診の受診率向上に、このCTが役に立つのではないかと考えています。

町立静内病院も「新たなCT」と共に「新たな取り組み」を考え、疾病の早期発見のためのスクリーニング、診断から治療、そして治療後のフォローアップに至るまで切れ目のない診療体制をこの機器を通して構築していきたいと考えています。

作成:新ひだか町立病院

❁町立静内病院 0146-42-0181(代表)

新ひだか町静内緑町4丁目5番1号

❁三石国保病院 0146-33-2231(代表)

新ひだか町三石本町214番地